

報告（3）

資料 3

令和 4 年度の市内公共交通利用者数について

1. 黒部市内公共交通の概要

- ・黒部市では、広域交通軸として南北に縦断する北陸新幹線、地域交通軸として海岸部付近を南北方向に走るあいの風とやま鉄道、市域を東西方向に走る富山地方鉄道本線が骨格となり、地域の状況に応じた路線バス、コミュニティタクシー、デマンド交通によるネットワークが形成されています。
- ・市東部の宇奈月温泉地区では、観光列車として有名な黒部峡谷鉄道が運行しています。
- ・平成 27 年度以降、黒部市地域公共交通網形成計画に基づいて路線バス、デマンドタクシーの新設及び見直しや社会実験が行われ、平成 30 年度は、10 月から南北循環線の一部を減便しました。
- ・令和元年 12 月 25 日には、明峰中学校開校（令和 2 年 4 月）に向けた通学環境改善のため、移設新築された富山地方鉄道荻生駅の利用が開始されました。
- ・そのほか、令和元年度で一部の路線バス、コミュニティタクシーについて、ルートや運行形態の見直しを行い、令和 2 年度の運行に反映しました。
- ・令和 4 年度から生地循環線が「道の駅 KOKO くらべ」まで延伸しました。

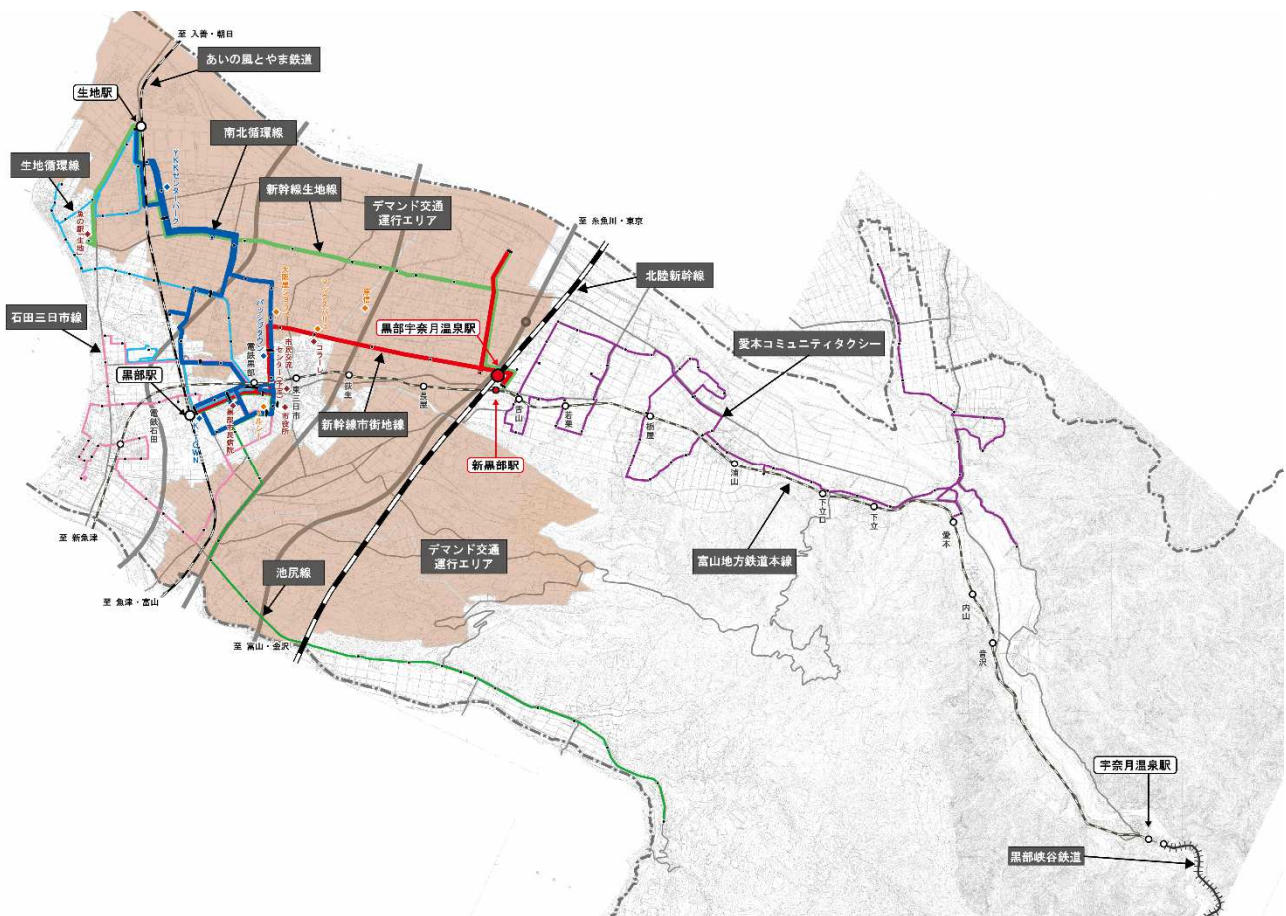


図 黒部市の公共交通網(令和5年3月末時点)

2. 黒部市内公共交通の利用状況

(1)【鉄道】北陸新幹線黒部宇奈月温泉駅における乗降調査結果

- ・北陸新幹線黒部宇奈月温泉駅の利用状況を把握するため、乗降調査を行いました。

実施方法：黒部宇奈月温泉駅改札を通過する利用者を目視により計数調査

実施時間：6 時～22 時台（終電到着後一定時間まで）

- ・令和 4 年度の乗降人数は、全ての月で令和 3 年度の乗降人数を大きく上回っていますが、令和元年度と比較すると、ほとんどの月で乗降人数は大きく下回っており、新型コロナウイルスによる影響は続いていると思われます。
- ・令和 3 年度からの増加割合が最も大きかったのは 5 月 3 日の運行であり、令和 3 年度からおよそ 3 倍となっています。

調査日	令和 4 年度							R3 同期 乗降人数	乗降人数 対 R3 割合 (R4/R3)	R1 同期 乗降人数	乗降人数 対 R1 割合 (R4/R1)	備考 令和 3 年度 実施日
	乗車 人数 (a)	うち ビジネス	降車 人数 (b)	うち ビジネス	乗降 人数 (a+b)	うち ビジネス	ビジネス 割合					
令和 4 年 5 月 3 日 (月・祝)	880	21	1,346	16	2,226	37	1.7%	741	300.4%	3,400	65.5%	令和 3 年 5 月 3 日 (月・祝)
令和 4 年 6 月 16 日 (木)	493	148	473	145	966	293	30.3%	489	197.5%	1,603	60.3%	令和 3 年 6 月 17 日 (木)
令和 4 年 6 月 19 日 (日)	633	30	652	37	1,285	67	5.2%	526	244.3%	1,945	66.1%	令和 3 年 6 月 20 日 (日)
令和 4 年 8 月 11 日 (木・祝)	683	28	1,305	24	1,988	52	2.6%	923	215.4%	3,031	65.6%	令和 3 年 8 月 9 日 (月・祝)
令和 4 年 11 月 6 日 (日)	1,157	80	1,218	73	2,375	153	6.4%	1,713	138.6%	2,623	90.5%	令和 3 年 11 月 7 日 (日)
令和 4 年 11 月 10 日 (木)	894	239	968	231	1,862	470	25.2%	1,042	178.7%	2,060	90.4%	令和 3 年 11 月 11 日 (木)
令和 5 年 2 月 2 日 (木)	436	153	486	164	922	317	34.4%	422	218.5%	1,413	65.3%	令和 4 年 2 月 3 日 (木)
令和 5 年 2 月 12 日 (日)	754	38	801	42	1,555	80	5.1%	766	203.0%	1,561	99.6%	令和 4 年 2 月 13 日 (日)

（２）【鉄道】 あいの風とやま鉄道(旧JR北陸本線)の利用状況

- ・あいの風とやま鉄道市内駅の一日平均乗降客数は、長期的には減少傾向がみられましたが、平成 27 年 3 月の同鉄道開業以降は増加傾向に転じました。しかし、新型コロナウイルスの影響から令和元年度に再び減少に転じ、令和 2 年度はさらに前年度を大きく下回りました。令和 4 年度は前年度を上回りましたが、令和元年度と比較すると、乗降人数は下回っており、依然として新型コロナウイルスによる影響は続いていると思われます。
- ・駅ごとにみると黒部駅、生地駅ともに令和 4 年度の一日あたりの乗降客数は、前年度と比較して若干増加していますが、一方で、どちらの駅も令和元年度と比較すると、乗降人数は下回っており、依然として新型コロナウイルスによる影響は続いていると思われます。

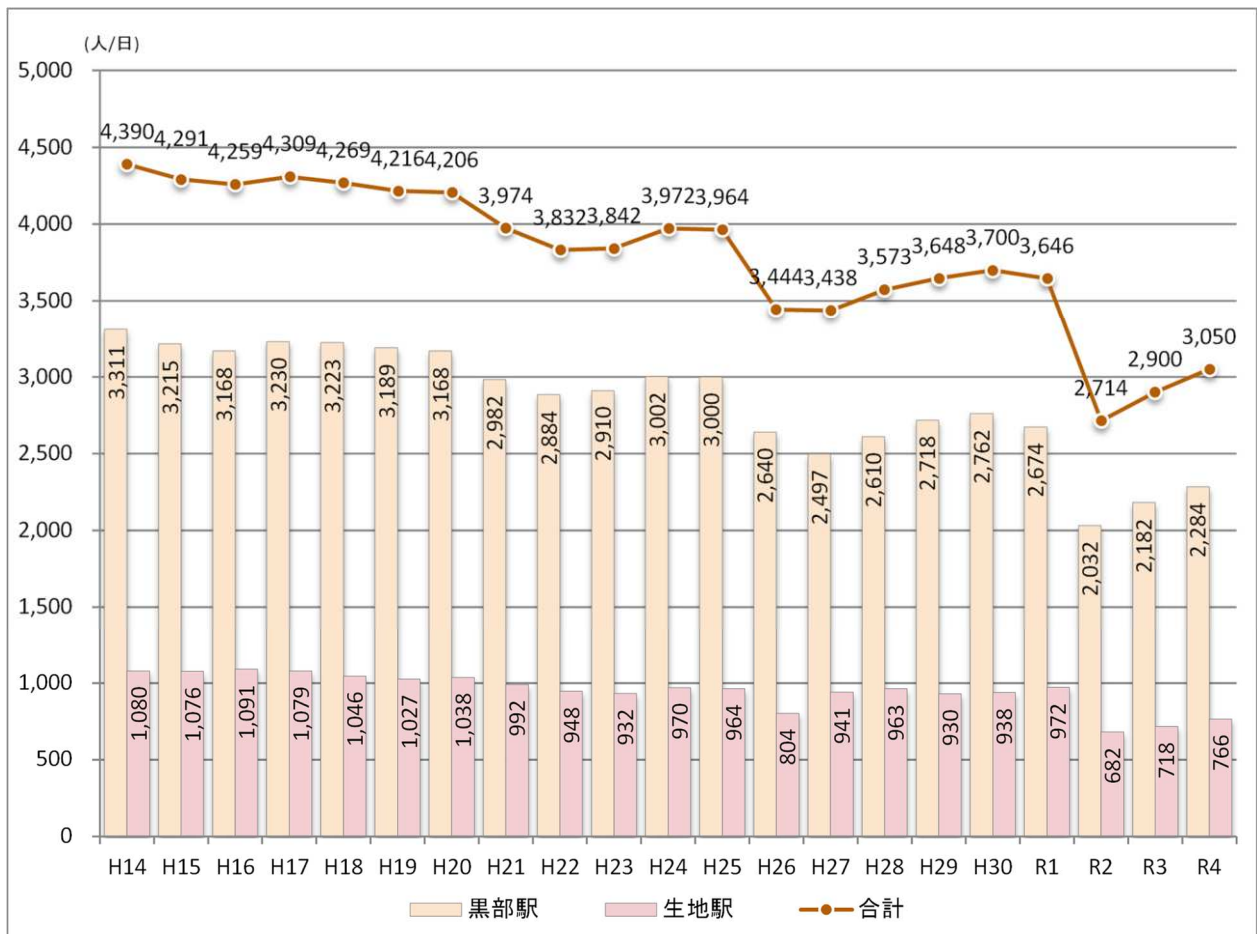


図 あいの風とやま鉄道(旧JR北陸本線)市内駅の 1 日あたり乗降客数の推移

表 あいの風とやま鉄道黒部市内鉄道駅の 1 日あたり乗降客数前年比

	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
黒部駅	98.3%	97.1%	98.5%	102.0%	99.8%	98.9%	99.3%	94.1%	96.7%	100.9%	103.2%	99.9%	88.0%	94.6%	104.5%	104.1%	101.6%	96.8%	76.0%	107.4%	104.7%
生地駅	99.9%	99.7%	101.4%	98.9%	96.9%	98.2%	101.1%	95.6%	95.6%	98.3%	104.1%	99.4%	83.4%	117.0%	102.3%	96.6%	100.9%	103.6%	70.2%	105.3%	106.7%
合計	98.7%	97.7%	99.3%	101.2%	99.1%	98.8%	99.8%	94.5%	96.4%	100.3%	103.4%	99.8%	86.9%	99.8%	103.9%	102.1%	101.4%	98.5%	74.4%	106.9%	105.2%

（出典：平成 26 年は平成 27 年 3 月 13 日まではJR西日本、平成 27 年 3 月 14 日以降はあいの風とやま鉄道）
※緑色は前年度比で増加を示しています。

（３）【鉄道】 富山地方鉄道本線の利用状況

- ・富山地方鉄道本線の日あたりの乗降客数は、平成 22 年まで減少していましたが、平成 23 年から増加に転じ、北陸新幹線が開業した平成 27 年は大幅に増加しています。平成 28 年以降は概ね横ばい傾向が続いていましたが、令和元年は新型コロナウイルスの影響から減少に転じ、令和 2 年度は利用者数が大幅に減少しています。令和 3 年度も減少傾向が続いていましたが、令和 4 年度は増加に転じました。令和元年度と比較すると、乗降人数は下回っており、依然として新型コロナウイルスによる影響は続いていると思われます。
- ・駅ごとの乗降客数は、北陸新幹線開業後に宇奈月温泉駅で大きく底上げされ、そのほかの駅も含め概ね横ばい傾向が続いていました。しかし、令和元年度に新型コロナウイルスの影響から、ほとんどの駅で減少に転じ、特に新黒部駅と宇奈月温泉駅は令和 2 年度において利用者数の減少が顕著となっています。また、令和 4 年度は音沢駅を除く全ての駅で令和元年度の利用者数を下回っており、これらの駅において、依然として新型コロナウイルスによる影響が続いていると思われます。

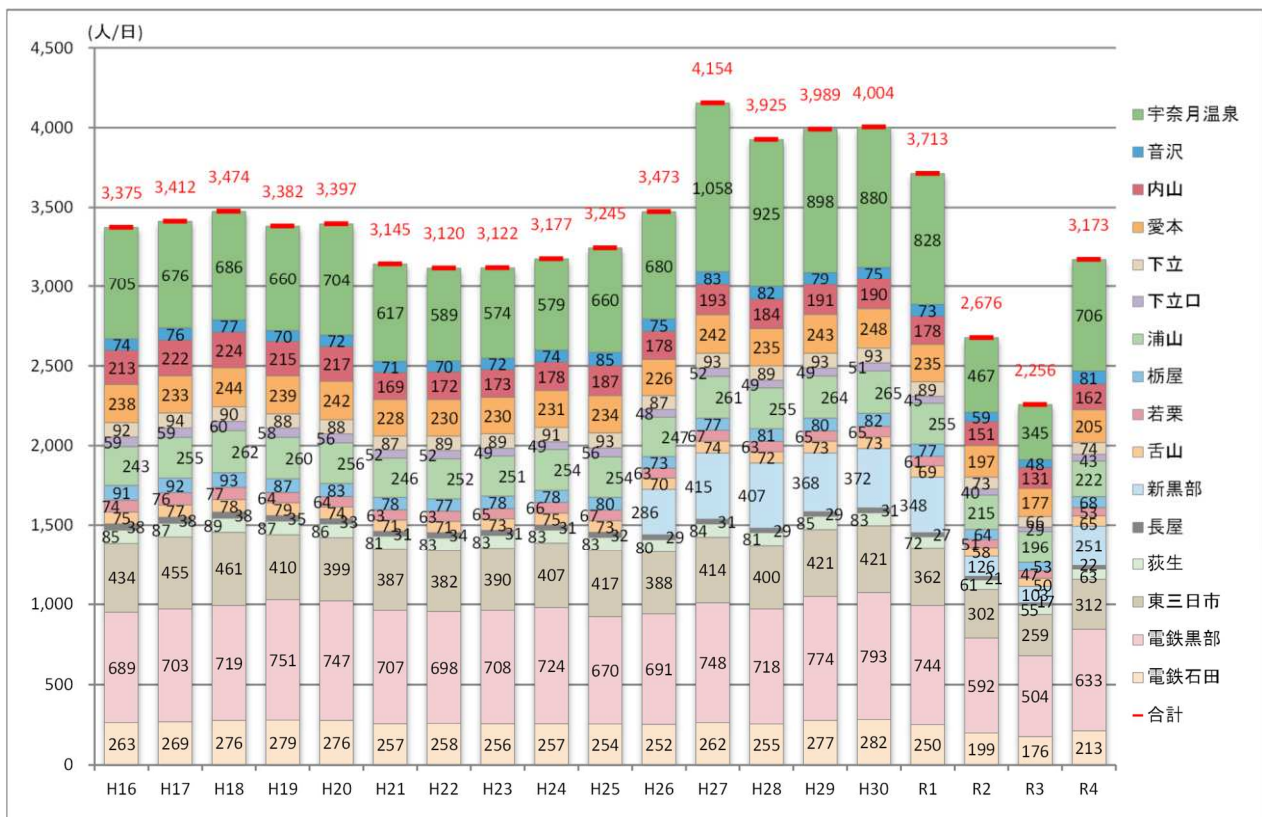


図 富山地方鉄道本線市内駅 1 日あたり乗降客数推移 （出典：富山地方鉄道株式会社）

表 富山地方鉄道黒部市内鉄道駅の 1 日あたり乗降客数前年比（出典：富山地方鉄道株式会社）

	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
電鉄石田	101.5%	93.0%	104.3%	102.5%	102.5%	101.1%	98.9%	93.1%	100.4%	99.2%	100.4%	98.8%	99.2%	104.0%	97.3%	108.6%	101.8%	88.7%	79.6%	88.4%	121.0%
電鉄黒部	101.3%	90.4%	94.8%	102.0%	102.3%	104.5%	99.5%	94.6%	98.7%	101.4%	102.3%	92.5%	103.1%	108.2%	96.0%	107.8%	102.5%	93.8%	79.6%	85.1%	125.6%
東三日市	100.0%	97.7%	100.1%	104.7%	101.3%	88.9%	97.3%	97.0%	98.7%	102.1%	104.4%	102.5%	93.0%	106.7%	96.6%	105.3%	100.0%	86.0%	83.4%	85.8%	120.5%
荻生	104.6%	95.8%	97.1%	102.5%	102.5%	97.8%	98.9%	94.2%	102.5%	100.0%	100.0%	100.0%	96.4%	105.0%	96.4%	104.9%	97.6%	86.7%	84.7%	90.2%	114.5%
長屋	100.0%	95.7%	96.9%	99.6%	100.4%	92.1%	94.3%	93.9%	109.7%	91.2%	100.0%	103.2%	90.6%	106.9%	93.5%	100.0%	106.9%	87.1%	77.8%	81.0%	129.4%
新黒部														145.1%	98.1%	90.4%	101.1%	93.5%	36.2%	81.7%	243.7%
舌山	100.0%	95.7%	98.2%	102.1%	101.7%	101.3%	93.7%	95.9%	100.0%	102.8%	102.7%	97.3%	95.9%	105.7%	97.3%	101.4%	100.0%	94.5%	84.1%	86.2%	130.0%
若栗	102.6%	95.8%	98.0%	102.1%	101.6%	83.1%	100.0%	98.4%	100.0%	103.2%	101.5%	101.5%	94.0%	106.3%	94.0%	103.2%	100.0%	93.8%	83.6%	92.2%	112.8%
栃屋	103.1%	93.8%	98.5%	100.9%	100.8%	93.5%	95.4%	94.0%	98.7%	101.3%	100.0%	102.6%	91.3%	105.5%	105.2%	98.8%	102.5%	93.9%	83.1%	82.8%	128.3%
浦山	102.3%	92.9%	98.6%	104.7%	102.7%	99.2%	98.5%	96.1%	102.4%	99.6%	101.2%	100.0%	97.2%	105.7%	97.7%	103.5%	100.4%	96.2%	84.3%	91.2%	113.3%
下立口	103.4%	98.3%	98.9%	100.1%	101.0%	96.7%	96.6%	92.9%	100.0%	94.2%	100.0%	114.3%	85.7%	108.3%	94.2%	100.0%	104.1%	88.2%	88.9%	72.5%	148.3%
下立	102.0%	93.6%	97.8%	102.9%	95.5%	97.8%	100.0%	98.9%	102.3%	100.0%	102.2%	102.2%	93.5%	106.9%	95.7%	104.5%	100.0%	95.7%	82.0%	90.4%	112.1%
愛本	104.5%	93.7%	98.9%	97.9%	104.7%	98.0%	94.2%	100.9%	100.0%	100.4%	101.3%	96.6%	107.1%	97.1%	103.4%	102.1%	94.8%	83.8%	89.8%	115.8%	
内山	102.2%	94.6%	98.1%	103.9%	101.0%	96.0%	100.9%	77.9%	101.8%	100.6%	102.9%	105.1%	95.2%	108.4%	95.3%	103.8%	99.5%	93.7%	84.8%	86.8%	123.7%
音沢	100.0%	97.7%	97.7%	103.9%	100.7%	90.9%	102.9%	98.6%	102.9%	102.8%	114.9%	88.2%	110.7%	98.8%	96.3%	94.9%	97.3%	80.8%	81.4%	168.8%	
宇奈月温泉	97.8%	102.3%	93.0%	95.8%	101.5%	96.2%	106.7%	97.6%	95.5%	97.5%	100.9%	114.0%	103.0%	155.6%	87.4%	97.1%	98.0%	94.1%	56.4%	73.9%	204.6%
合計	100.9%	95.5%	97.1%	101.1%	101.8%	97.4%	100.4%	92.6%	99.2%	100.1%	101.8%	102.1%	107.0%	119.6%	94.5%	101.6%	100.4%	92.7%	72.1%	84.3%	140.6%

※緑色は前年対比で増加を示しています。

（４）【路線バス】新幹線市街地線の利用状況

- ・ YKK 荻生製造所まで延伸した平成 29 年 7 月から令和元年度においては、利用者数は概ね増加傾向にあり、延伸効果がみられました。
- ・ 一方で、黒部駅から黒部宇奈月温泉駅へのアクセス交通という当初の目的が浸透せず、利用者数は伸び悩んでいます。
- ・ 令和 2 年度の利用者数は新型コロナウイルスの影響で大きく減少しており、令和 3 年度に若干の回復が見られましたが、令和 4 年度では、前年度と比較して利用者が少ない月が半数以上存在するなど、新型コロナウイルスの影響が続いているものと考えられます。
- ・ また、令和 4 年度においては、月ごとに利用者の変動が見られますが、概ね一日あたりの利用者数は、前年度と同様に 30 人前後となっています。

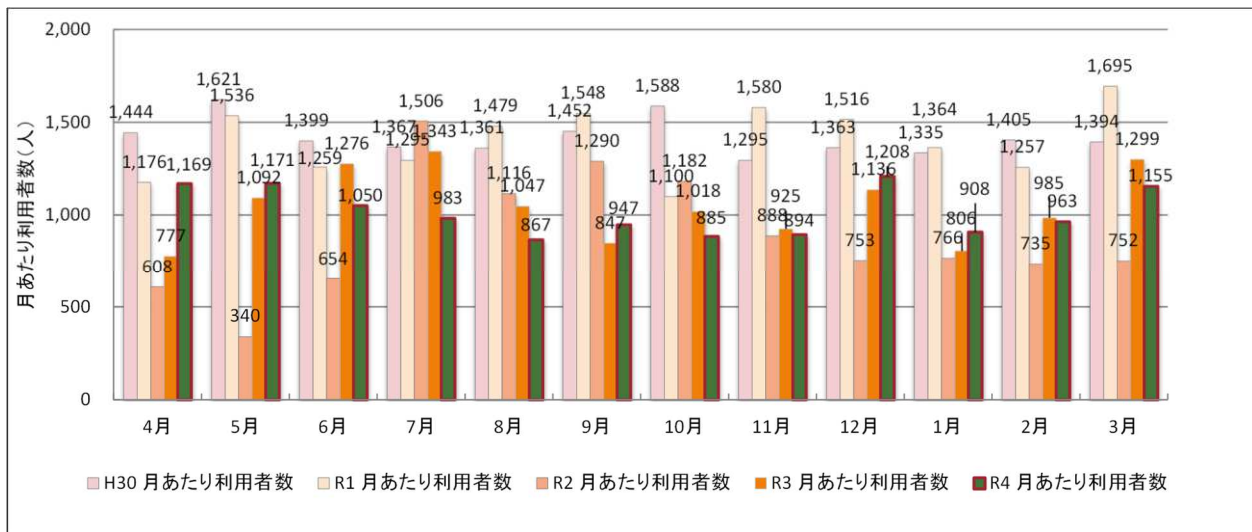


図 新幹線市街地線 月別利用者数推移

表 新幹線市街地線 年度別利用者数推移

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
利用者数	17,024	16,805	10,590	12,551	12,200
前年対比	128.8%	98.7%	63.0%	118.5%	97.2%
一日平均	46.6	46.0	29.0	34.4	33.4

※一日平均の数値は年間利用者数を 365 日で割り返して算出しています。

（５）【路線バス】新幹線生地線の利用状況

- ・系統を増やした平成 29 年 6 月以降は、利用者が大幅に増加しており、一日当たり 100 人を超える利用で推移していましたが、令和 2 年度に新型コロナウイルスの影響で利用者は大幅に減少しました。
- ・令和 3 年度以降、利用者は回復傾向となっていますが、令和元年度と比較すると一年を通して大きく下回っており、新型コロナウイルスの影響は続いているものと考えられます。
- ・一方、平日に比べ休日の利用者は極端に少ないことから、利用者のほとんどは通勤またはビジネス目的で利用しているものと考えられます。

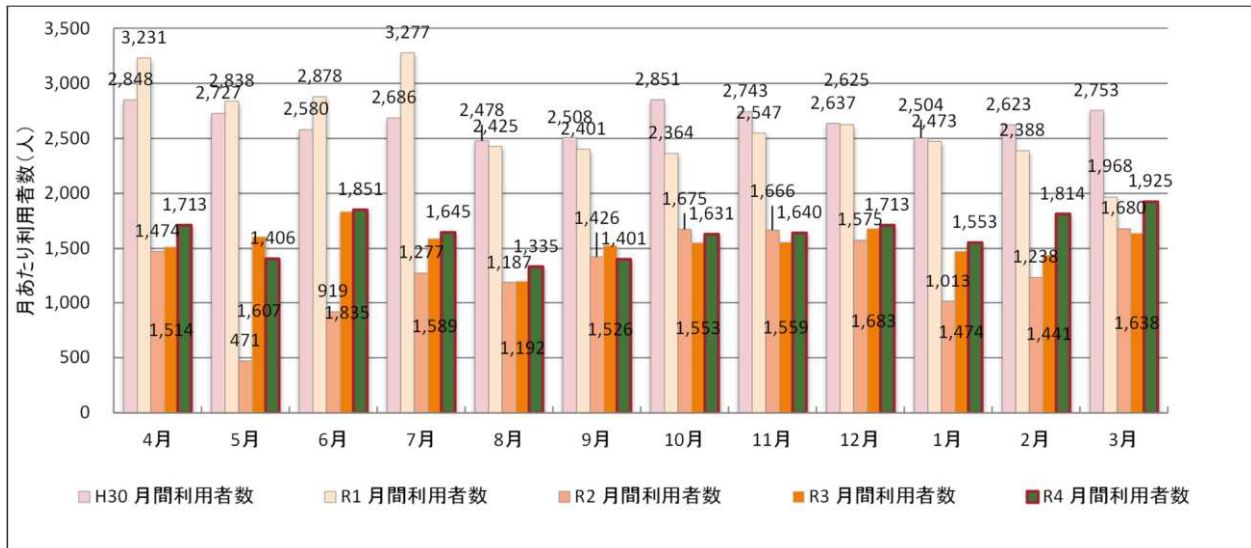


図 新幹線生地線 月別利用者数推移

表 新幹線生地線 年度別利用者数推移

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
利用者数	31,938	31,415	15,601	18,611	19,627
前年対比	118.4%	98.4%	49.7%	119.3%	105.5%
平日平均	130.4	128.2	64.7	77.9	81.6
休日平均	6.1	5.3	2.8	3.4	4.2

（6）【路線バス】 生地循環線の利用状況

- ・平成 26 年度以降、年間利用者数が緩やかな減少傾向にある中で、令和 2 年度に新型コロナウイルスの影響で利用者数は大幅に減少しました。
- ・令和 4 年度の利用者数は、前年度と比較してやや増加するものの、令和元年度の水準を大きく下回っており、新型コロナウイルスの影響は続いているものと考えられます。
- ・また、令和 4 年度の月別利用者数は、4 月及び 1 月を除いて前年度を上回っています。

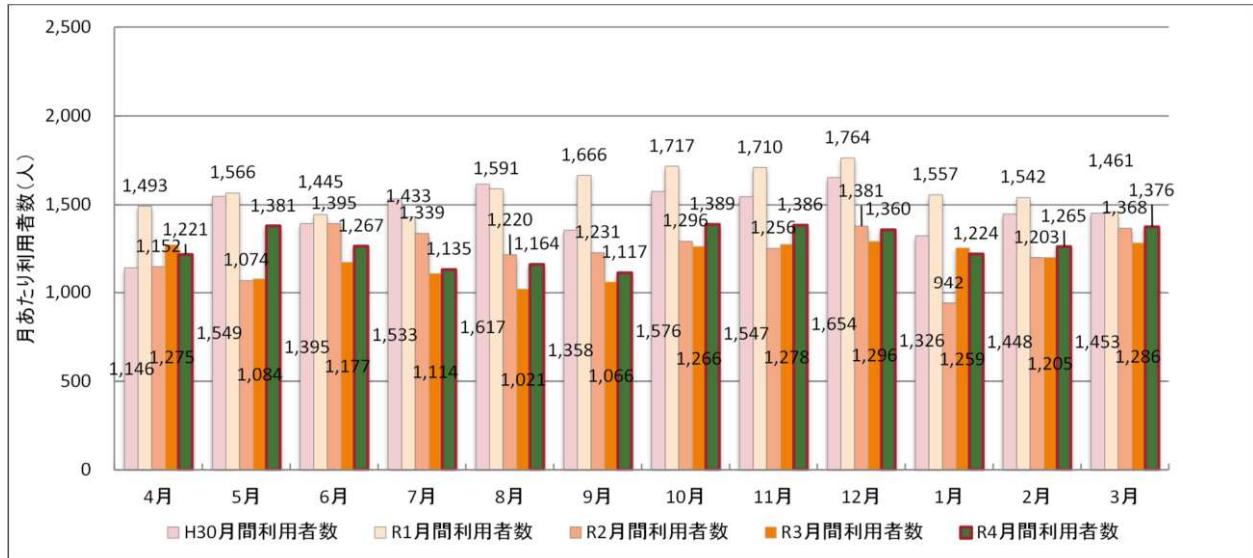


図 生地循環線 利用者数推移

表 生地循環線 年度別利用者数推移

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
利用者数	17,602	18,945	14,857	14,327	15,285
前年対比	73.7%	107.6%	78.4%	96.4%	106.7%
一日平均	48.2	51.9	40.7	39.3	41.9

※一日平均の数値は年間利用者数を 365 日で割り返して算出しています。

（７）【路線バス】石田三日市線の利用状況

- ・ルート変更を実施した平成 28 年度以降は、利用者数の横ばい傾向が続く中で、令和 2 年度に新型コロナウイルスの影響で利用者数は大幅に減少しました。
- ・令和 3 年度以降、利用者数は着実に回復してきており、令和 4 年度の利用者数を令和元年度と比較すると半数程度の月で令和元年度を上回っており、新型コロナウイルスの影響がかなり小さくなってきているものと考えられます。

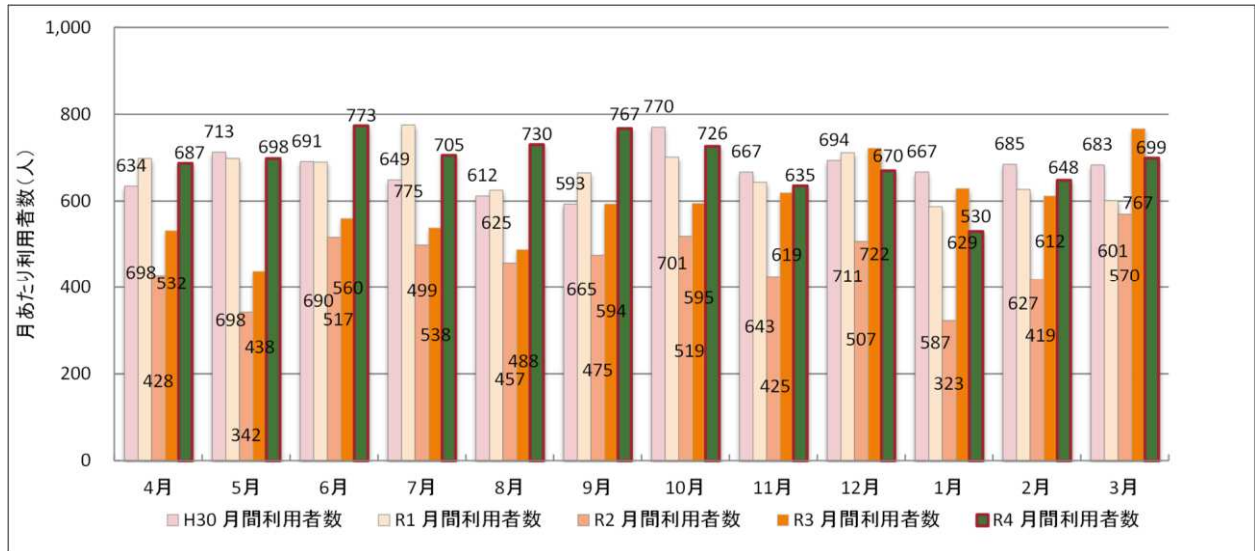


図 石田三日市線 月別利用者数推移

表 石田三日市線 年度別利用者数推移

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
利用者数	8,058	8,021	5,481	7,094	8,268
前年対比	104.6%	99.5%	68.3%	129.4%	116.5%
一日平均	33.1	33.0	22.6	29.2	34.0

（８）【路線バス】池尻線の利用状況

- ・平成 27 年度以降は利用者数が増加傾向にあり、平成 30 年度より平日のみの運行となったものの、1 日平均利用者数は 35 人前後を保っていました。しかし、令和 2 年度に新型コロナウイルスの影響で利用者数は大幅に減少しました。
- ・令和 3 年度には利用者数が回復したものの、令和 4 年度で再び減少に転じる結果となりました。
- ・令和 4 年度の月別の利用者数を見ると、5 月を除いて前年度を下回っています。

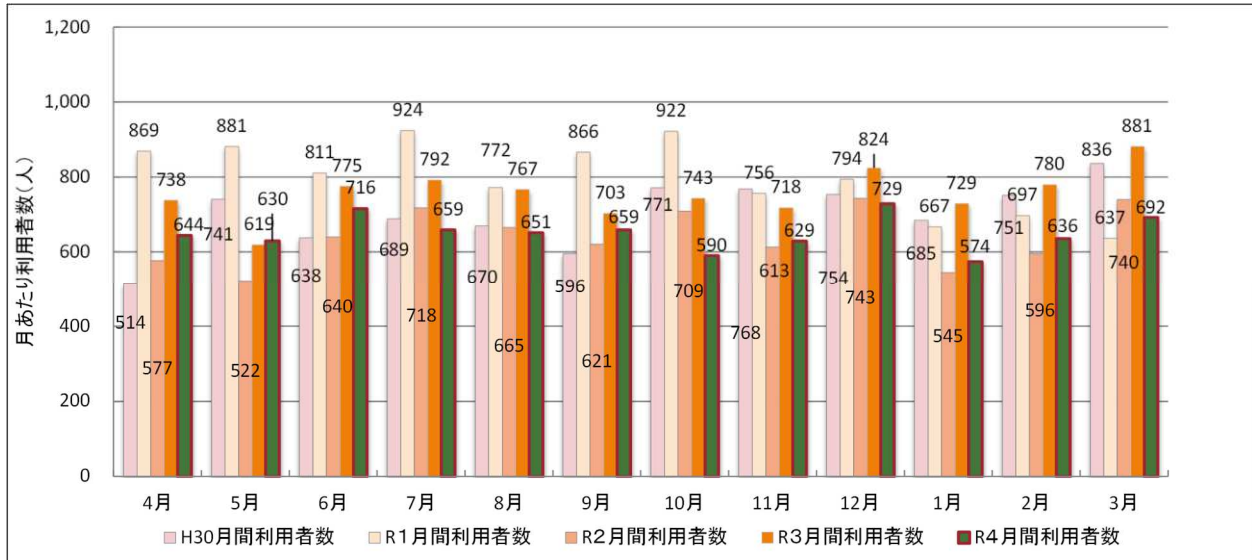


図 池尻線 月別利用者数推移

表 池尻線 年度別利用者数推移

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
利用者数	8,413	9,596	7,689	9,069	7,809
前年対比	109.2%	114.1%	80.1%	117.9%	86.1%
一日平均	35.9	40.0	31.8	37.5	32.3

（９）【路線バス】南北循環線の利用状況

- ・新型コロナウイルスの影響により、令和２年度に利用者数が大きく減少しました。
- ・令和３年度以降は、利用者数の回復傾向が見られるものの、令和元年度の水準を大きく下回っており、新型コロナウイルスの影響は続いているものと考えられます。
- ・なお、一般利用も含め、令和４年度においては 270 人/日程度の利用と、当初目標としていた 440 人/日（YKK社員 420 人/日、一般 20 人/日）に対して 6 割程度の水準となっています。

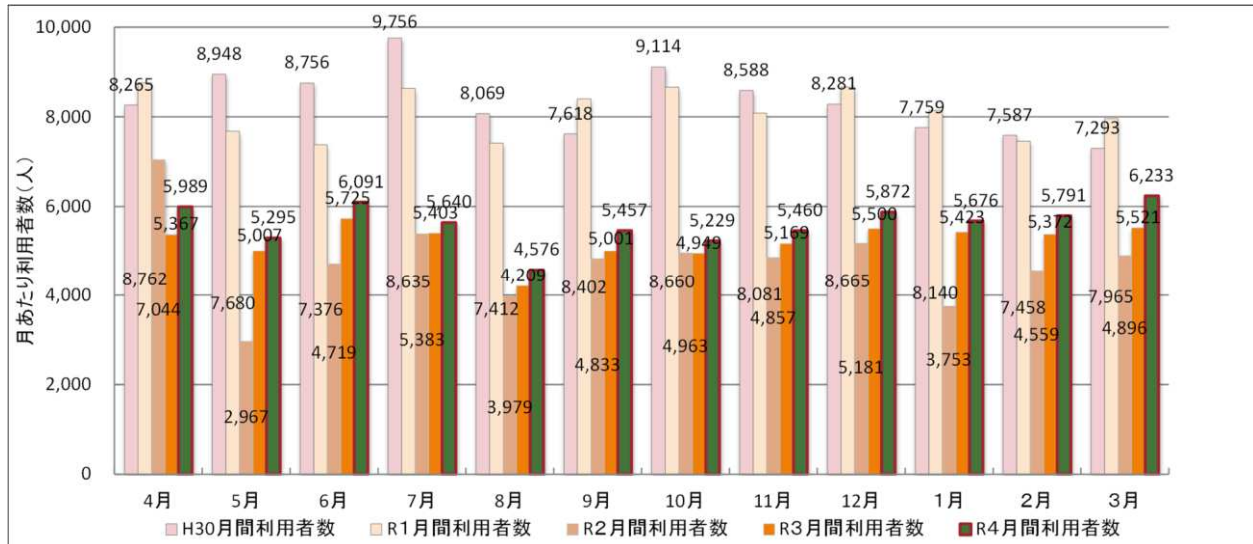


図 南北循環線 利用者数推移

表 南北循環線 年度別利用者数推移

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
利用者数	100,034	97,236	57,134	62,646	67,309
前年対比	－	97.2%	58.8%	109.6%	107.4%
一日平均	410.0	398.5	235.1	256.8	273.6

(10)【コミュニティ交通】愛本コミュニティタクシーの利用状況

- ・平成 30 年度以降、年間利用者数は緩やかな減少傾向となる中で、他の路線に比べ新型コロナウイルスの影響は最小限に留まっています。
- ・また、令和 4 年度の利用者数は前年度を大きく下回る結果となりました。
- ・令和 4 年度の利用者数を月別にみると、ほとんどの月で前年を下回っています。

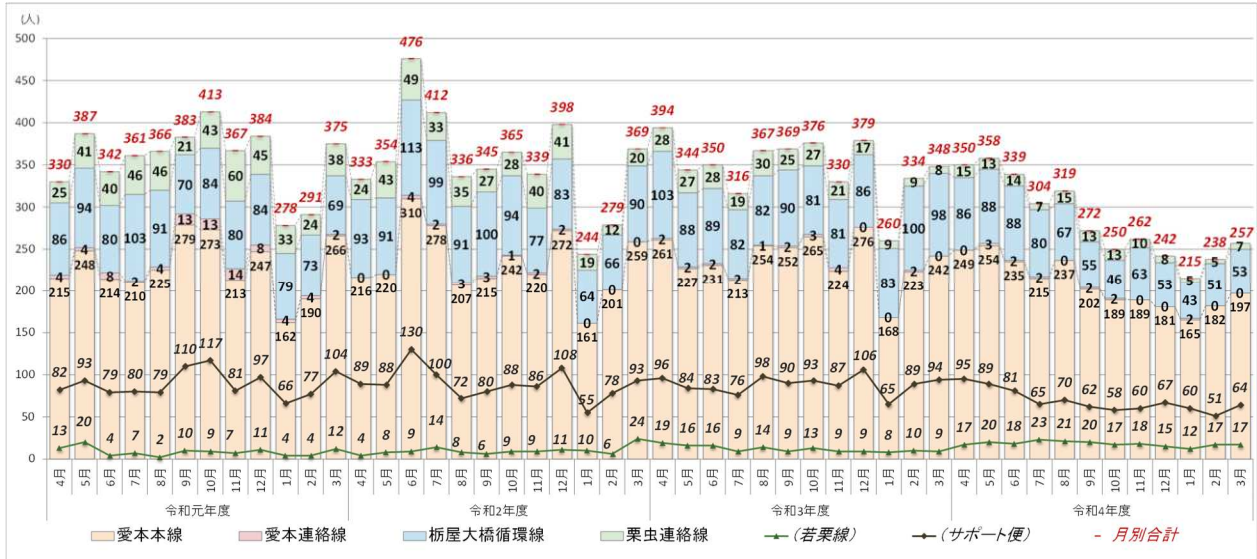


図 愛本コミュニティタクシー 利用者数推移

表 愛本コミュニティタクシー 年度別利用者数推移

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
利用者数	4,421	4,277	4,250	4,167	3,406
前年対比	99.6%	96.7%	99.4%	98.0%	81.7%
一日平均	18.1	17.6	17.5	17.2	14.0

（11）【コミュニティ交通】デマンドタクシー（田家・前沢地区）の利用状況

- ・年間利用者数は、平成 28 年度以降増加傾向が続いており、他の路線が新型コロナウイルスの影響を大きく受ける令和 2 年度以降も増加傾向となっていました、令和 4 年度には減少に転じる結果となりました。
- ・利用者数を地区別にみると、田家地区では令和 2 年度からの増加傾向が継続していますが、前沢地区はこれまで続けていた増加傾向が令和 4 年度に減少に転じる結果となりました。
- ・田家地区では、一日あたり平均乗車者数の増加傾向、一便あたり平均乗車者数の横ばい傾向が続いていますが、前沢地区では、一日あたり平均乗車者数及び一便あたり平均乗車者数ともに令和 4 年度に減少に転じています。

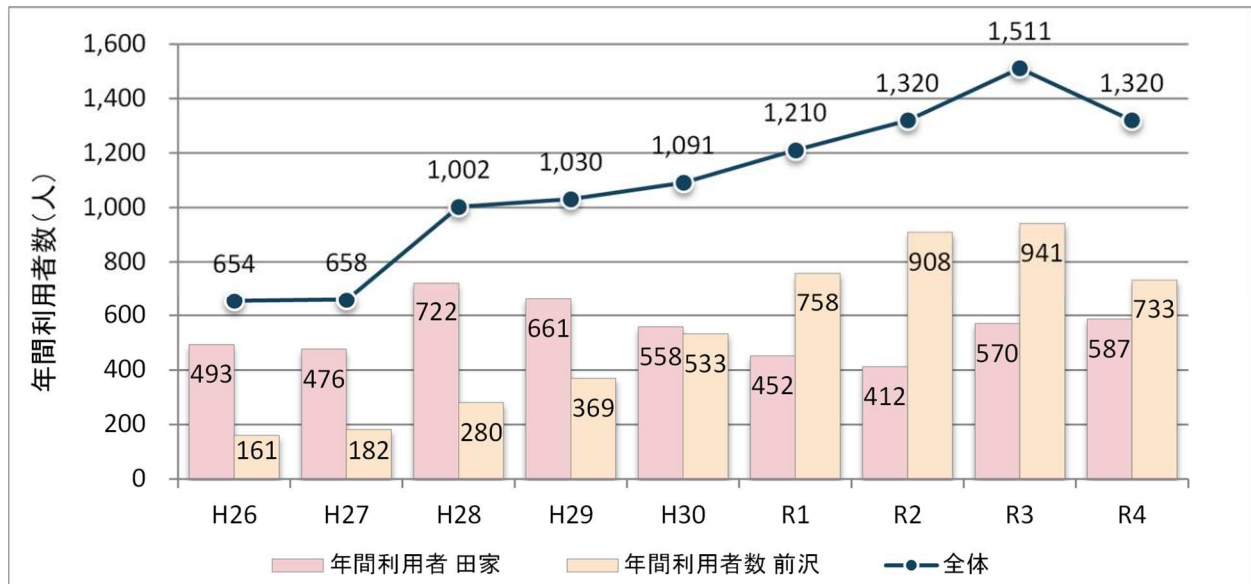


図 デマンドタクシー（田家・前沢地区）年間利用者数推移

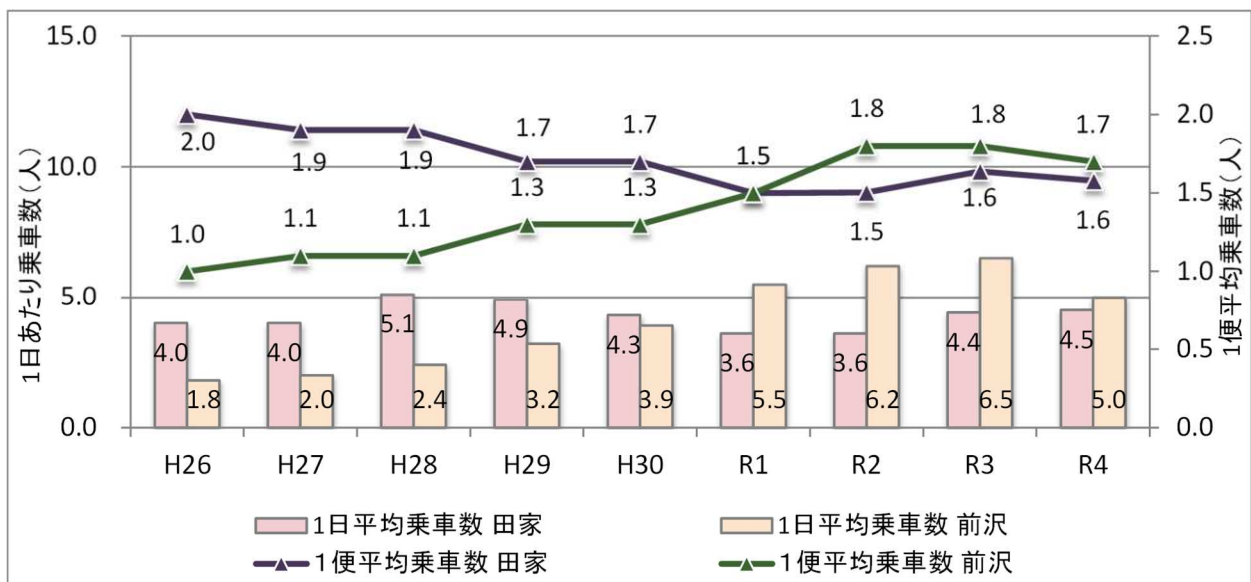


図 デマンドタクシー（田家・前沢地区）1日平均及び1便平均利用者数推移

（12）【コミュニティ交通】デマンドタクシー（村椿・大布施・荻生地区）の概要と利用状況

- ・平成 27 年 11 月の運行開始以降、令和元年度までは概ね順調に利用者数が増加してきましたが、令和 2 年度は、新型コロナウイルスの影響もあり減少に転じました。
- ・令和 3 年度には利用者数が回復したものの、令和 4 年度で再び減少に転じる結果となりました。
- ・利用者数を地区別にみると、村椿・大布施地区では令和 3 年度からの増加傾向が継続していますが、荻生地区は令和 3 年度にいったん回復するものの令和 4 年度に再び減少に転じる結果となりました。
- ・村椿・大布施地区では、一日あたり平均乗車者数の増加傾向、一便あたり平均乗車者数の横ばい傾向が続いていますが、荻生地区では、一日あたり平均乗車者数及び一便あたり平均乗車者数ともに令和 4 年度に著しく減少しています。

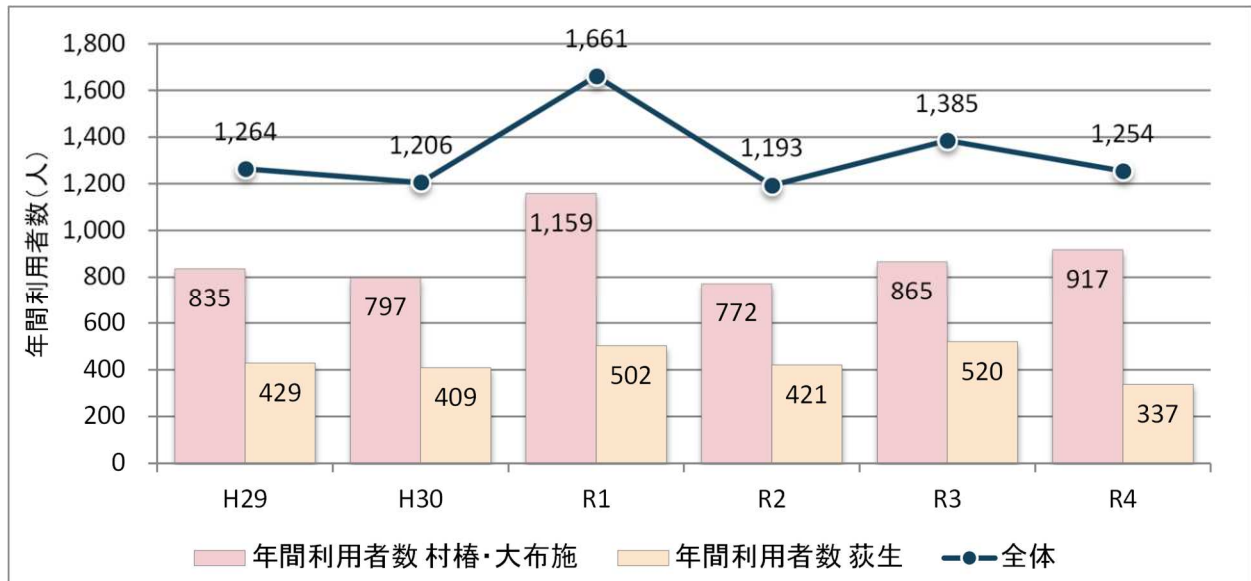


図 デマンドタクシー（村椿・大布施・荻生地区）年間利用者数推移

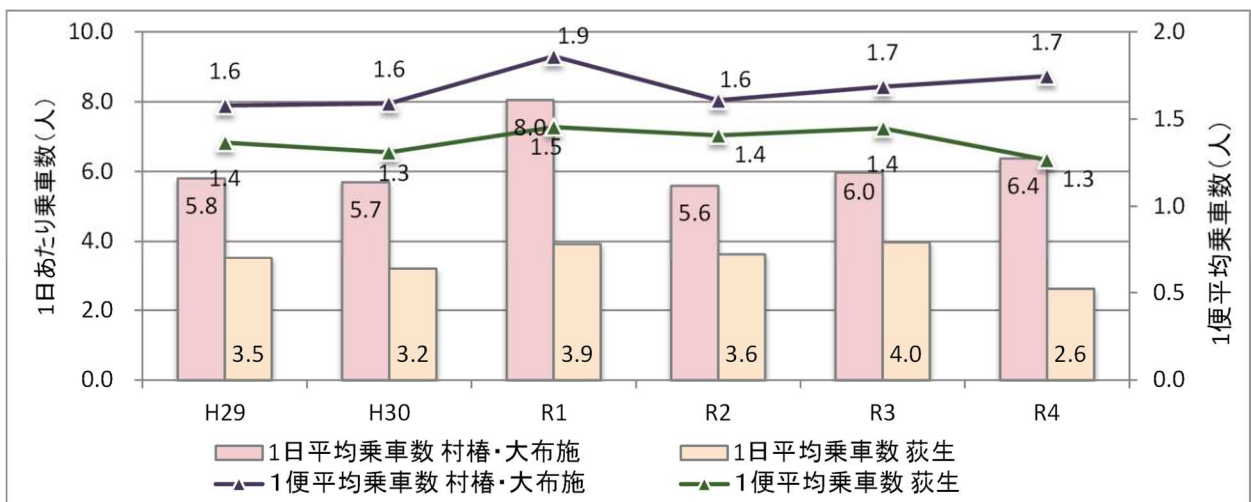


図 デマンドタクシー（村椿・大布施・荻生地区）1日平均及び1便平均利用者数推移